

— 教 区 研 修 会 —

講 題

原爆被爆者としての思い

1945年8月6日と9日、広島そして長崎に原爆が投下され、終戦となり81年、これまで平和を享受してきました。
かろうじて生き残った被爆者は、これから生き抜くための行動を始めました。

被爆者の核兵器に反対する運動は、当初から自分たちの体験を言葉にして確かめ、広く知らせていく、原爆被害の実相普及の活動に平和を求め、戦争反対の声をあげました。

戦争の反省から生まれた日本国憲法はその前文で、
「**政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意**」とあります。これが重要であると思います。



— 講 師

佐久間 邦彦 さん

広島県原爆被害者団体協議会（広島県被団協）理事長

生後9ヶ月のとき、爆心地から約2.5kmの己斐町で直接被爆。
被爆体験をもとに、平和と核兵器廃絶を訴え続けている。

▶ プロフィール詳細は裏面にて

— 日 時

2026(令和8)年 **10** 月 **7** 日（水）

開場 14:30 / 開会 15:00 / 閉会 16:30

▶ 日程詳細は裏面にて

入場無料 / 申込書裏面

— 会 場

本願寺津村別院（北御堂）

2階 津村ホール

大阪市中央区本町4-1-3

大阪メトロ御堂筋線「本町駅」（2番出口スグ）

— PROFILE / 詳細プロフィール

講師：佐久間 邦彦 さん

役 職	広島県原爆被害者団体協議会 理事長
被災概要	生後9か月の時、爆心地から2.5kmの己斐町で被爆。自宅の縁側で寝ていた時に被爆し、母親に背負われて裏山に逃げる途中で黒い雨に遭ったと聞いている。ガラスの破片で額に傷を負った。
主な活動	定年退職後、広島県被団協で被爆者相談員を務める。「平和記念公園」の碑巡り講師活動も行う。2011年の福島第一原発事故以降は、幼児期の被爆体験と内部被曝について語る活動をしている。

— PROGRAM / 当日プログラム

	14:30	開場・受付
	15:00	開会式
		趣旨説明
	15:10	講演（80分）
	16:30	閉会式

教区研修会 FAX申込書

必要事項をご記入の上、事務局まで
FAXまたは右記QRコードよりお申込ください。

お名前（ふりがな）	
電話番号 または メールアドレス ※	
所属寺院	組 寺 （あればご記入ください）

※日程変更のあった場合、ご連絡させていただきます。

簡単オンライン申込



スマートフォンやパソコンから
こちらのQRコードを読み取って
いただくことで、簡単にお申込
みいただけます。

FAXでお申込みの方は、上記申込用紙にご記入の上、送信してください

【お問い合わせ】

「御同朋の社会をめざす運動」大阪教区委員会
教区事業推進部会担当（篠、山田）
〒541-0053 大阪府中央区本町4-1-3
TEL:06-6261-6796 FAX:06-6261-6735